

## はじめに

|       |   |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: jpn<br>出版者:<br>公開日: 2021-04-15<br>キーワード (Ja):<br>キーワード (En):<br>作成者: 大塚, 玲<br>メールアドレス:<br>所属: |
| URL   | <a href="http://hdl.handle.net/10297/00028152">http://hdl.handle.net/10297/00028152</a>           |

## はじめに

静岡大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻（教職大学院）の第11期修了生による成果報告書抄録集をお届けします。本抄録集は、静岡市・浜松市・静岡県教育委員会派遣の教員14名および学卒院生7名の合計21名の修了生が、2年間にわたり探求してきたアクション・リサーチ（実践的研究）の成果の概要をまとめたものです。

さて、折しも平成29年度末にこれまでの審議を経て、小学校の新学習指導要領が公示され、本年度には完全実施となりました。今回の改定は、「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」「何ができるようになるのか」の視点から改定の基本方針として、「社会に開かれた教育課程」、「資質・能力の一層確実な育成」を推進するためにカリキュラム・マネジメント、「主体的・対話的で深い学び」の視点が導入されました。これまでの知識習得型の学力観から、実際に社会や状況に応じて活用できる資質・能力を基盤とする学力観に大きく変更の舵が切られました。それにともなって資質・能力を基盤とした授業研究の方法論、校内研修の在り方、カリキュラム・マネジメントを視点とした組織体制、生徒指導・支援の在り方、特別支援教育の在り方など、新学習指導要領の趣旨の実現に向けて大学を始めとする研究機関と教育現場とが一層連携を深め、これらの課題に答えていかなければならない時期が到来しています。

本抄録には、資質・能力を明確にしたカリキュラム開発、小・中連携におけるカリキュラム・マネジメントの開発、総合的な学習における探求の在り方、深い生徒理解と支援の在り方など新学習指導要領の趣旨の実現に向けた課題に取り組んだアクションリサーチ（実践的研究）で大半が構成されています。ご一読のうえ、忌憚のないご意見、ご批評をいただければ幸いです。

なお、本専攻は本年度、改組を行い、教育学研究科を教職大学院に一本化いたしました。本専攻では、これまでも学校や地域の教育リーダーたる高度な専門的職業人としての教員を養成してまいりました。令和2年度の改組によってその機能をさらに充実させ、教育に対する使命感や倫理観等の教育的素養を高めるとともに、理論知と実践知とを往還・融合する新しい知識体系の構築に取り組み、授業力、生徒指導・支援力、教育課題対応力、学校改善リーダーシップの4つの資質・能力に基づく高度な実践的指導力を身につけた教員の養成を目指してまいります。

新教職大学院におきましても一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年3月

静岡大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻

（教職大学院）

専攻長 大塚 玲